

# 「2022～2023年度第2回職業奉仕委員会研修会」アンケート結果

## 1) 本日の研修会で印象に残ったことはありましたか？ 参加していかがでしたか？

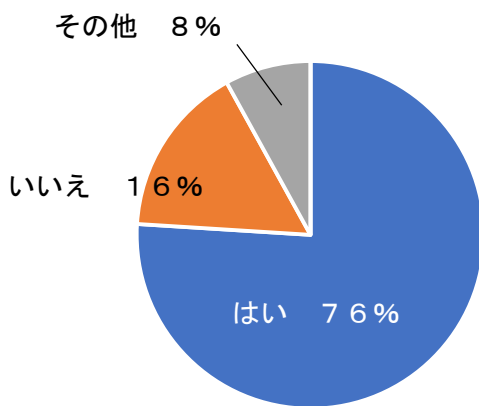
- ・ 哲学的な部分から始まり難しい内容かなと思いましたが、今までわかりにくかった部分を丁寧に教えていただきました。
- ・ 安平先生のお話
- ・ 中途入室でしたので基調講演には参加出来ませんでしたが、グループ研修は参加させていただきました。ロータリーの原点は職業奉仕からであるという事が確認できたので良かった。
- ・ 長田委員長はじめ関係各位のご準備ご苦労様でした、大変素晴らしい研修会だったと思います。安平PGのお話は総論から各論までわかりやすお話を良かったです。後半のグループ研修も平川DLがよく勉強されていて有意義なディスカッションでした。
- ・ 第2680地区PG安平和彦氏のお話がとてもためになりました。
- ・ 業界から選ばれてロータリーに参加したのではなく、ロータリーで学んだ職業奉仕を業界に戻って活かしていくという考えがとても印象に残りました。
- ・ 顧客に喜んでもらえれば事業も成長し結果自分自身が幸せになれるというロータリーの奉仕哲学について印象に残りました。  
参加して会の活動や自分の職業や会社、私生活にも意識していきたいと思ひ勉強になった。
- ・ グループ研修の必要性がわかりにくかった。進行次第を作っていただくと理解できたのではないのでしょうか。
- ・ 参加してとても勉強になりました。特に職業奉仕が「信用」に繋がる事を大切にしたいと思ひました。
- ・ 短い時間ではありましたが、グループセッションにて、各人のロータリーへの魅力、自らの想いが本音で判りやすく聞けて良かった。
- ・ 一つは四つのテストの解釈です。第1条と第2～4条が互いに衝突する場面があるという事に気が付きました。ともすれば故事成語の「矛盾」のように両立する事の出来ないジレンマになるかと思われませんが、それはこの四つのテスト全体を見据えた上で判断しなければならないことが理解できました。  
もう一つは、我が国の先達にもロータリーの精神の源流(伝統的職業倫理)が根付いていたことに驚きました。この様な時代にロータリーはもちろん日本に誕生していないのですが、知らず知らずのうちにロータリー的な考え方の素地が醸成されており、そうしたDNAが元々あって後年ロータリーが出来たときにさしたる抵抗がなく受容できたのではないかという事実に思ひを馳せることができました。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ ロータリー歴史年表のグループ研修が心に残った、参加して勉強になりました。
- ・ グループに分かれての意見交換会  
当クラブからも、新会員や入会の浅い会員が参加できればと思ひました。
- ・ 本日はお疲れさまでした、安平PGのご講演により職業奉仕の理解が深まりました。又RLI方式によるグループ研修というのも初めてでしたので、他のロータリークラブの方の意見聞けて勉強になりました、次回も是非参加させていただきたいと存じます。
- ・ 安平PG様のご講演が理解しやすい説明が多く、大変参考になりました。東洋の哲学、日本の伝統的実業倫理とロータリーの倫理・哲学が同じだったので心理は一つなのだと実感しました。参加して有意義でした。長田委員長のロータリーの歴史も、ポールハリスの生い立ちもとても分かりやすかったです。
- ・ 決議23-34号の6-g. zoomの方が近親感があって楽しい。
- ・ 二宮尊徳、渋沢栄一
- ・ 大変参考になりました。ロータリーの歴史から学ぶ点が良かったです。

- ・ 安平和彦氏の講演は大変有益でした、分かりやすく多くを学びました。
- ・ 安平PGのお話全般。
- ・ 『奉仕の理想＝利己と利他の調和の哲学』、『満足という商品は感謝という対価』、『真実という商品は信用という対価』それが持続的発展へ、すぐにスマホに入力しました。

私は社会福祉事業に関わっております。福祉の精神から「地域貢献」「奉仕の理想」などの倫理論、精神論(思い)が大切だと思い就労しておりました。運営組織に移動となり、理事長より「良いことをするためには収益が大切。慈善事業だけでは良いことが出来ない」と言われました。初めはしっかりとせず、自分の信念が優位性を出し過ぎておりましたが、徐々にその意図が理解できるようになりました。今回の研修からも『利己と利他の調和』『満足と感謝』『真実と信用』、たくさんの言葉から組織を運営する本来の目的、理想像が浮き上がる様な感じを受けました。

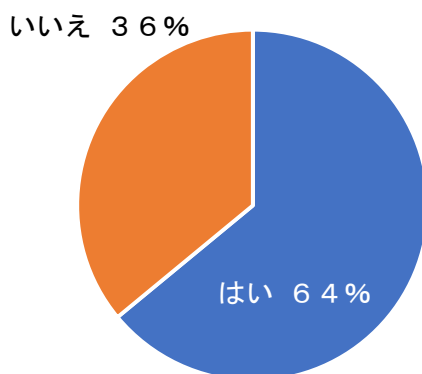
- ・ ロータリー活動の考え方の変化が理解できました、現在も変化が続いています。基本的な哲学はソクラテスの時代と変わってないと感じました。
- ・ 参加して良かったです。
- ・ 「誰かの人生に喜びをもたらすことにより、自分自身が幸せになる」職業奉仕の意味かも知れないと感じました。

## 2) 参考資料を事前に読みましたか？



- ・ 拝読しましたが、深く勉強する必要があると思いました。福島喜三次氏は、日本人1番目のロータリアン(ダラスRC)。米山梅吉氏は日本で初のRC創立者。
- ・ 手違いの為、直前入手となったため、ほとんど読めずでした。
- ・ 資料を事前に読みましたが、ボリュームが多すぎました、もっと簡潔で良いと思います。
- ・ 本来であれば、じっくりと読み、事前準備をし研修に臨まなければならないのですが、年度末でもあり、目を通す程度の準備となってしまいました。
- ・ 入会1年くらいのロータリーのことをしっかりと理解していないものでありながら準備段階で反省です。

## 3) 事前質問を確認し、準備して研修会に参加しましたか？



- ・ はい。歴史年表の最後についていたので探すのに手間取りました、別なファイルにした方が良くもかもしれません
- ・ 事前質問が届いていませんでした、職業奉仕委員会でないからなのでしょうか？
- ・ 手違いの為、直前入手となったため、ほとんど読めずでした。答えはすぐに整理できた。
- ・ 一応は自分の中では漫然と考えたつもりで臨みました。ただし独善的な部分は否めないなので、こうした機会を活用してそれが正解なのか、或いは正解に近いのかを見極めることが肝要だと思います。
- ・ 事前質問を確認し、書いてまとめて準備して参加させていただきました。
- ・ 質問を確認して発言を準備しました。

4) 研修会の内容を、クラブで活用したいと思いませんか？

- ・ 何かの機会にクラブ会員に伝えたいと思います。
- ・ 当クラブでも職業奉仕委員会の勉強会を開いて、活用してみたい。
- ・ 色々参考になった事例があるので活用したいと思います。
- ・ 職業奉仕委員長に任命されても、これがどういう委員会かも理解無く始まり、ネットなどで調べて始まる程度でした。今回の研修会は大変勉強になり、うっすら浅く霞がかかった知識が少し明確になりました。次の委員長に少しでも理解を深めたいうえでスタートできるような体制づくりができればいいとも思いましたのでクラブで引き継ぎたいと思います。
- ・ 安平PGの講演は、とても勉強になりました。
- ・ クラブに持ち帰って共有したいと思います。
- ・ 新しい入会者等への紹介として活用したいと思う。私自身もまだ新参者であり、自分としても資料情報等はよく読みたいと思う。
- ・ 活用したいと思います。出来れば次年度の職業奉仕委員長にも声をかけるべきであったと後悔しています。
- ・ 活用するためには、まだまだ知識(今回の内容)が頭に入っていないので再度資料を読み直したいと思っております。
- ・ 次期クラブ会長のため、次年度例会冒頭の挨拶等で、活用できればと考えています。
- ・ 次年度の職業奉仕委員長にも内容報告し、クラブでも活用していきたいです。第1回目の研修も卓話等の参考にしております。
- ・ なかなかうまく伝えられないと思いますが報告したいと思います。
- ・ 4月3日の当クラブの例会で研修内容を報告しました、活用したいと思います。
- ・ 思いました、時間を20分ぐらいまとめて編集してはいかがでしょうか。

5) 今回の研修会に参加して改善点や、お気づきの事、感想をご記入ください。

- ・ 特にありません。
- ・ スタッフの皆様大変お疲れさまでした。
- ・ 「情けは人の為ならずとは、人に対して情けを掛けておけば、巡りめぐって自分に良い報いが返ってくる」と云う、締め講評はとても良かった。
- ・ 参加者にとって素晴らしい研修だったと思います。

休憩時間が長すぎると思います。会場移動があるわけでもないのに主催者側が次の準備に必要でないなら5分でいいと思います。

時間はもう少し短い方が参加しやすいですね、後半のグループ研修は時間的に良かったです。

ロータリー情報委員会の zoom 座談会の参考にもなりました。

- ・ 休憩時間中の音声やビデオの休止などを普及させた方が良くと思いました。本人の名誉の事もありますので
- ・ 職業奉仕はとても難しく捉えがちですが、ロータリアンになったからには、職業人として習得していきたい(習得していくべき)内容であると感じました。四つのテストの生い立ちや精神、奉仕の理想など、例会で口ずさんでいる言葉の意味を理解することはとても大切であると感じました。その部分に触れずに退会してしまう会員(親睦のみに期待して入会してくる会員)も少なくしていく事が会員増強とともに今のロータリーに求められている事ではないかと感じました。又講師の講演を拝聴する事だけでなく、グループ研修を行うことも職業奉仕の理解を深める意味ではとても有意義であると感じました。
- ・ すごく良かったと思います。
- ・ グループ研修の進行次第を頂いていなかったなので、参加の仕方が難しかった。
- ・ 事前質問がPDF最後のページにあり、資料を読み終えるまで気づきませんでした。

- 各クラブでの活動実事例の紹介(特に良かったこと、点)までも企画されたら良い。参考にさせてもらえることがあるのでは？

グループ研修(小集団)での意見交換的な内容はこれからもやってください。

- 職業奉仕委員会だけではなく他の委員会でもこうした研修を実施すべきです。地区研修協議会だけではなく各クラブ委員会は学ぶ機会がなかなか得られません。

職業奉仕委員会ではないのですが、RIや地区とクラブでの事業計画が相反する場合、或いは趣旨が異なる場合、どう調整すべきなのか戸惑う場面が過去にありました。この点につきご見解ご指導を頂ければと思います。

事前にご連絡していましたように所業があり、中座しました、非礼をお詫び申し上げます。

- 不勉強で的を得る返答が出来ず申し訳なく感じておりますが、今回は有意義な内容でした。皆様(参加者)の意見も参考になりました、ありがとうございました。
- ロータリーの歴史年表などは数多くの会員に参加してほしい、広報してはどうか。
- 研修お疲れ様です。職業奉仕の分野は、その解りづらさ誰もが敬遠しがちの所だと思います。当クラブにおいても、説明できる会員が皆無のため、職業奉仕の研修を敬遠しがちです。今回も職業奉仕委員長に出席を求めましたがスルーされました。職業奉仕に関する15~30分程度のDVDがあれば、例会で視聴して理解が図れると思うのですが。
- 大変素晴らしい研修会でした、zoomの便利さを改めて感じました。今後とも何卒よろしくお願い致します。
- このような研修会を開催して頂き有難うございます。他のグループのご意見もお聞きしてみたいです。

時間があれば各DLの(グループ)まとめを聞けたら良いと思います。

ディスカッションの時間ももう少し取れたら良いのでは？と思います。今後とも宜しくお願い致します。ロータリーについて「考える」機会を授けて頂き感謝しております。

- 半日位の研修が丁度良い。
- 自分が思っていたのと同様でした。
- 特にありませんがもう少し参加者がいてもいいのかなと思いました。
- 「職業奉仕活動として自分は具体的にどのように取り組んでいますか？」という事に専念すべきと思いました。

私のグループでは、多くの発言が2)に集中していました。

- 特に問題なし。
- 自分はよく『昭和の考え』など言われ、又色々な研修場面でも同様な言葉が聞かれます。時代背景、育ってきた環境、教育などで個人のパーソナリティーの変化、世界の変化に対応し、未来を見据えながら柔軟な組織を作っていく事は大切だと思いますが、『理念』や『倫理』はできた意図や意味は、普遍的なものがあります。その歴史を正しく理解することが大切であり、その根底をしっかりと持ち、変化させていく事が大切だと常々感じておりました。今回の研修会に参加させていただき、ロータリーの歴史に触れ、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。ロータリーをもっと知り、もっと理解し、自分の中で正しい倫理観をつけ、これからの世代でも心に響くプレゼンが出来る様励んでいきたいと思っております。貴重な機会有難うございました。
- 職業奉仕ではない日本語に帰ると良いと思っております、〈奉仕の使命〉〈奉仕の理念〉とか考えられませんか？
- 大変良かったです、何年ぶりRLI方式に参加しました。最近のRIの方針も話されて良かったです。
- 進行管理においてzoom個別グループ討議から戻るときは自動で強制的に戻る様にすべきと思っております。